

< 毎年の山谷越年・越冬支援、ご協力ありがとうございます >

皆さまのカンパで共同炊事（炊き出し）が続けられます！



山谷越年・越冬の取り組みに多額のカンパをお寄せいただき、感謝の念に堪えません。皆さまのカンパはどのように使われているのか、お知らせします。

山谷労働者福祉会館は、設立（1990年）以来、会館の建設も含めすべてカンパで運営してきました。有給の専従を置かず、活動メンバーはすべて（他に仕事をもった）ボランティアで運営・活動しています。行政の補助金もありません。

年間通しての共同炊事（毎週日曜）で使う米などの食材、炊事用品、ガソリン代、会館の水道・光熱費、補修費、医療用品、夏祭りなどはすべてカンパでまかなわれています。

特に越年期（12月29日～1月4日に予定）連日の取り組みは支出が膨らみます。この期間は毎年、24時間態勢で野外炊事場と寝床（労働福祉センター前。連日午後2時から寄り合い予定）を設営して、連日、朝食と夕食に300～400食ほどの食事をつくります。食材はカンパも寄せられますが、特に米は購入しなければ足りません。布団や毛布なども不足分は購入します。もちつき大会も、隅田川や上野公園などで行います。

建設業界など「人手不足」が喧伝されていますが、高齢や傷病で働けなくなった人たち、生活保護にアクセスできなくて野宿を強いられる人たちは大勢います。

10月の台風では、台東区の避難所で野宿者が追い返された事態が報じられました。会館では緊急の宿泊態勢をとるとともに台東区にも抗議しました。国会の予算委員会でも問題となり、台東区長は謝罪しましたが、命にかかわる人権蹂躪はあってはならないことです。越年・越冬は、孤立した仲間の命と権利を守る大切な取り組みです。

あらためて、これまでのご支援にお礼を申し上げますとともに、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



山谷労働者福祉会館

2019-2020 山谷越年・越冬闘争実行委員会

〒111-0021 台東区日本堤1の25の11

TEL03-3876-7073 070-5022-2641